

1 / 2

七
中
五
七
中
七
五
五
中
七
四
五
七
四
上
老

四		
合		
老	ま	ゆ
上	な	
四	か	
五		
老	る	
上		
四		
五	や	
中	し	
七		

五	が
〇	
五	
中	
五	い
七	
中	み
工	に
五	う
七	く
中	さ
中	
七	
五	り
工	
中	て
七	い

四	五	よ
五	七	
七	四	
五		
七		
中		
王		
五		
七		
中		
中		
七		
五		
王		
中		
七		

四	
五	
七	
四	
上	さ
四	み
老	てい
合	
上	く い
合	し
老	さ
四	
五	や

四	
中	あ
工	り
七	が
五	し
工	
五	が
中	
上	
四	た
五	
七	
四	
上	

四	ジ
老	ン
合	ト
五	ヤ
七	ウ
合	ー
四	
中	あ
五	り
四	が
中	し
工	
中	が
上	
四	
五	た
七	

四
五
七
中
王
五
七
中
中
七
五
王
中
七
四
五
七

四	上	老	四
---	---	---	---

世宝節（ゆたからぶし）

三下

2/2

一、真夜中（まゆなか）るやしが
夢に起くされていよ
覚めてい恋しさや ありが姿
（ジントヨー ありが姿）

真夜中でこそあるが
夢に起こされて
目覚めて恋しいのは
あの人の姿

三、無蔵が寢座敷に
梅ぬ花咲かちヨー
うぐゑしになやい
偲（しぬ）で見みぶさ
（ジントヨー 偲で見みぶさ）

貴女の寢間に
梅の花（を）咲かせ
鶯になつて忍んで（行つて）
みたいものだ

二、一人手枕に
明かす夜ぬちらさヨー
無蔵（んじよ）が手枕に
明かち見みぶさー
（サヨナー 明けち見みぶさ）

一人手枕で
明かす夜の辛さ
あの人（彼女）の手枕で
夜を明かしてみたい

四、鳥やちよん飛ばん
島とうめてい
無蔵とう二人加那がなとう
暮ち見みぶさー
（サヨナー 暮ち見みぶさー）

鳥ですら飛ばない
島求めて貴女と二人
仲良く暮らしたい